



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 トーイン株式会社

上場取引所 八

コード番号 7923 URL <http://www.toin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO兼COO (氏名) 春 公明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画統括 (氏名) 坂戸 正朗

TEL 04-7131-2111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 6,063 | 11.1 | 233 | — | 227 | — | 116 | — |
| 29年3月期第2四半期 | 5,458 | △6.3 | △30 | — | △127 | — | △36 | — |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 399百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 17百万円 (△78.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 22.39 | — |
| 29年3月期第2四半期 | △6.61 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 17,994 | 9,022 | 49.9 | 1,720.41 |
| 29年3月期 | 16,817 | 8,655 | 51.2 | 1,650.60 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 8,979百万円 29年3月期 8,614百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 29年3月期 | — | 5.00 | — | 7.50 | 12.50 |
| 30年3月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|---|------|---|-----------------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 11,900 | 8.6 | 250 | — | 250 | — | 100 | — | 19.16 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 7「四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年3月期2Q | 6,377,500 株 | 29年3月期 | 6,377,500 株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期2Q | 1,158,252 株 | 29年3月期 | 1,158,252 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 30年3月期2Q | 5,219,248 株 | 29年3月期2Q | 5,469,248 株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の持ち直しやIT産業を中心に輸出が増加したことなどで緩やかに回復いたしました。地政学的リスクの高まりなど海外の政治・経済情勢に不安を抱える状況で推移いたしました。

包装資材業界においては、国内の雇用情勢は緩やかな改善傾向が続いたものの大手企業の賃上げ率や夏季賞与が前年並みにとどまったことや少子高齢化の進行による将来不安を背景とした節約志向などで個人消費は緩慢な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは営業・生産それぞれの組織の目的達成を重視する体制整備を図り各々の活動に注力してまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は6,063百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は233百万円（前年同期 営業損失30百万円）、経常利益は227百万円（前年同期 経常損失127百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は116百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失36百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①包装資材事業

国内の売上高は、新規取引先開拓や既存客先からの受注拡大に向け、営業体制の強化を図り、当社技術のアピールや企画提案型の営業活動を継続的かつ、きめ細かく実施したことで、化粧品分野の売上が堅調に推移し、食品・日用品・医薬品の分野も底堅く推移いたしました。また、海外においても、特にベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）の売上が引き続き増収基調を維持したことなどにより売上高は5,388百万円（前年同期比9.1%増）となりました。利益面については、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）は、売上が増収基調にあり、生産ラインを増設するなど着実に生産性・採算性を向上させつつあるものの、まだ、固定費の回収には至っておりませんが、国内において生産体制の整備や製造部門と製造間接部門が一体となつての生産の効率化・安定化、品質保証の徹底などの諸施策を推進し、まだ、不十分ではありますが製造コスト低減に貢献し増益となりました。

②精密塗工事業

営業体制の強化や展示会出展によるマーケティング力強化などにより新製品の受注獲得に注力したことで売上高は394百万円（前年同期比48.2%増）となりました。利益面については、売上高の増加や生産技術力の強化などによる生産の効率化などで増益となりました。

③その他事業

受託包装において安定的な定期品を受注したことなどで、売上高は280百万円（前年同期比10.1%増）となりました。利益面については、主に売上高の増加により増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は17,994百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,177百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金並びに電子記録債権が712百万円、投資有価証券が457百万円増加したことによるものであります。

負債は8,972百万円となり、前連結会計年度末に比べ810百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金並びに電子記録債務が288百万円、借入金が299百万円増加したことによるものであります。

純資産は9,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ367百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が300百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成29年10月31日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,403,178 | 2,435,067 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,579,892 | 3,044,822 |
| 電子記録債権 | 911,364 | 1,158,575 |
| 商品及び製品 | 391,039 | 357,332 |
| 仕掛品 | 339,861 | 370,372 |
| 原材料及び貯蔵品 | 202,218 | 227,653 |
| その他 | 304,030 | 258,072 |
| 貸倒引当金 | △1,000 | △1,000 |
| 流動資産合計 | 7,130,585 | 7,850,895 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,811,340 | 1,729,939 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,812,446 | 3,214,030 |
| 土地 | 2,319,579 | 2,319,579 |
| その他(純額) | 401,620 | 83,084 |
| 有形固定資産合計 | 7,344,986 | 7,346,632 |
| 無形固定資産 | 62,426 | 54,166 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,873,875 | 2,330,883 |
| その他 | 404,711 | 412,397 |
| 投資その他の資産合計 | 2,278,586 | 2,743,281 |
| 固定資産合計 | 9,685,998 | 10,144,080 |
| 繰延資産 | 621 | - |
| 資産合計 | 16,817,205 | 17,994,976 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,372,767 | 1,382,756 |
| 電子記録債務 | 1,424,888 | 1,703,649 |
| 短期借入金 | 350,000 | 350,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 651,000 | 725,000 |
| 未払法人税等 | 84,179 | 123,935 |
| 賞与引当金 | 97,000 | 112,674 |
| その他 | 887,598 | 946,290 |
| 流動負債合計 | 4,867,433 | 5,344,305 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,389,000 | 2,614,000 |
| 退職給付に係る負債 | 251,293 | 235,299 |
| 役員退職慰労引当金 | 142,350 | 151,492 |
| その他 | 511,273 | 626,944 |
| 固定負債合計 | 3,293,917 | 3,627,736 |
| 負債合計 | 8,161,350 | 8,972,042 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,244,500 | 2,244,500 |
| 資本剰余金 | 2,901,824 | 2,901,824 |
| 利益剰余金 | 3,371,453 | 3,438,949 |
| 自己株式 | △603,179 | △603,179 |
| 株主資本合計 | 7,914,598 | 7,982,094 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 699,478 | 1,000,434 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2,151 | △1,737 |
| 為替換算調整勘定 | 124,158 | 108,415 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △121,174 | △109,985 |
| その他の包括利益累計額合計 | 700,310 | 997,127 |
| 非支配株主持分 | 40,945 | 43,711 |
| 純資産合計 | 8,655,855 | 9,022,934 |
| 負債純資産合計 | 16,817,205 | 17,994,976 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日） |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 5,458,902 | 6,063,970 |
| 売上原価 | 4,645,389 | 4,934,986 |
| 売上総利益 | 813,513 | 1,128,984 |
| 販売費及び一般管理費 | 844,084 | 895,215 |
| 営業利益又は営業損失（△） | △30,571 | 233,768 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 382 | 908 |
| 受取配当金 | 20,520 | 18,056 |
| 持分法による投資利益 | - | 21,835 |
| その他 | 5,800 | 4,141 |
| 営業外収益合計 | 26,704 | 44,941 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 24,742 | 26,229 |
| 為替差損 | 95,258 | 22,890 |
| その他 | 3,197 | 2,317 |
| 営業外費用合計 | 123,197 | 51,438 |
| 経常利益又は経常損失（△） | △127,065 | 227,271 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 8,969 | 793 |
| 投資有価証券売却益 | 92,299 | - |
| 保険解約返戻金 | 637 | - |
| 受取保険金 | 55,680 | - |
| 特別利益合計 | 157,587 | 793 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 392 | - |
| 固定資産除却損 | 24 | 2,611 |
| 役員退職慰労金 | 2,320 | 2,528 |
| 弔慰金 | 10,000 | - |
| 特別損失合計 | 12,738 | 5,140 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 17,783 | 222,924 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 41,973 | 101,732 |
| 法人税等調整額 | 9,610 | 1,940 |
| 法人税等合計 | 51,584 | 103,672 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | △33,801 | 119,251 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,335 | 2,379 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△） | △36,136 | 116,871 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日） |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | △33,801 | 119,251 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 130,611 | 300,955 |
| 繰延ヘッジ損益 | 377 | 414 |
| 為替換算調整勘定 | △94,638 | △34,576 |
| 退職給付に係る調整額 | 14,805 | 11,189 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | - | 2,125 |
| その他の包括利益合計 | 51,155 | 280,108 |
| 四半期包括利益 | 17,354 | 399,359 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 19,563 | 396,349 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △2,208 | 3,010 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、関連会社であるPrinting Solution Co., Ltd. は重要性が増したため、持分法適用の範囲に含めております。